

リユース他社の厨房機器 通販

テンポス、100社と提携めざす



中古厨房機器をネットで販売する事業者は限られている（テンポスの埼玉県内の店舗）

テンポスホールディングス（HD）子会社で中古厨房機器のネット販売を手掛けるテンポスドットコム（東京・大田）は、自社のサイト内ではほかのリユース店の商品の取り扱いを始めた。ネットの販売網を持たない中小のリユース事業者の受け皿とする。2020年4月までに100社との提携を目指し、中古品の品ぞろえを充実させて利用者を増やす。

テンポスドットコムは、商品を通販サイト上に登録できることにした。3年間は無料で出品を受け付ける。4年目以降は1%程度の販売手数料を取ることを検討している。購入の際は、買い手と必要でネット企業の参入が遅れている。テンポスは厨房機器のネット販売の地位を早期に確立し、顧客を囲い込む。

テンポスHDが全国に展開する約60店の店舗の商品をネットで販売している。冷蔵庫やフライヤーなど業務用の中古の厨房機器を約2万点扱う。同業のリユース事業者の商品もテンポスの通販サイトに登録し、販売できるサービスを始めた。テンポスの商品を優先せずに表示し検索結果も同じ条件で並べることで、ほかのリユース事業者の取り込みを図る。



同社の試算では中古厨房機器の販売事業者は全国に300社ほどあるが、多くが小規模でネット通販に対応していないという。こうした事業者のネット対応の需要を取り込み、提携企業を増やす計画だ。20年4月までに100社との提携を目指し、中古厨房機器の登録数を2万5000、3万点程度まで広げる。

テンポスドットコムの19年4月期の売上高は20億円で、中古厨房機器のネット販売では国内最大手となっている。「商品の選択肢が増えれば、サイトの集客力もさらに高まる」（同社）とみて、21年4月期に売上高を25億円に高める。

リユース専門店はメルカリなどフリーマーケットアプリに客足を取られつつあるが、厨房機器は